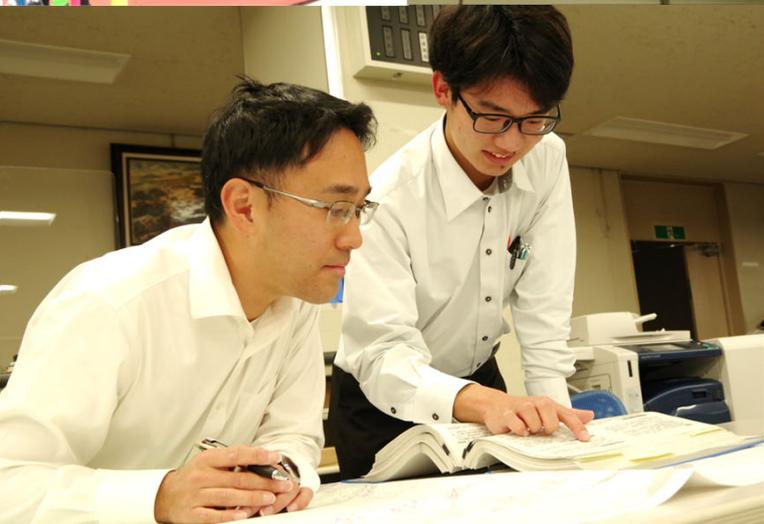




あなたの個性が、九州を変える



リクルート
ガイド



国土交通省 九州地方整備局

電気通信関係業務の概要

デジタル・電気・電子





場所：九州高規格道路管理センター

～目次～



1. 業務概要	p3
1.1 国土交通省九州地方整備局の 電気通信について.....	p3
1.2 電気通信分野のミッション.....	p4
1.3 業務概要（計画・設計）.....	p5
1.4 業務概要（整備）.....	p6
1.5 業務概要（維持管理）.....	p7
1.6 防災業務における電気通信.....	p8
1.7 デジタル技術の活用.....	p9
1.8 カーボンニュートラルに向けた取組.....	p9
2. 九州地方整備局の組織構成	p10
3. 研修制度	p11
4. 職員の業務スケジュール	p12
5. 先輩職員の声	p13
6. 情報発信・SNS情報	p17
7. （付録）管理している設備紹介	p19

1. 業務概要

1.1 国土交通省 九州地方整備局における電気通信業務について

九州地方整備局では、九州地方における道路・河川の管理や災害対応のため、様々な電気通信施設の整備・運用をおこなっています。

技術革新、進展が著しい電気・通信・情報分野において、新たな技術の活用に積極的に取り組み、国民の安全・安心を確保しつつ、防災・減災や社会資本の維持管理・発展・環境・エネルギー対策といった各課題に対応しています。

道路

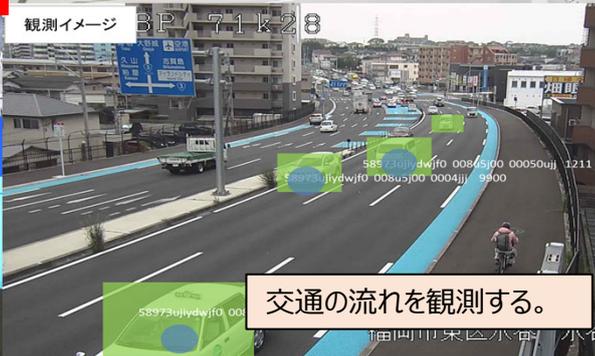
道路管理における情報収集
道路の安全を守る



道路の状況を監視する。



利用者の安全を守る。



交通の流れを観測する。

河川・ダム

河川管理における情報収集
河川管理施設の遠隔制御



河川管理施設を遠隔制御する。

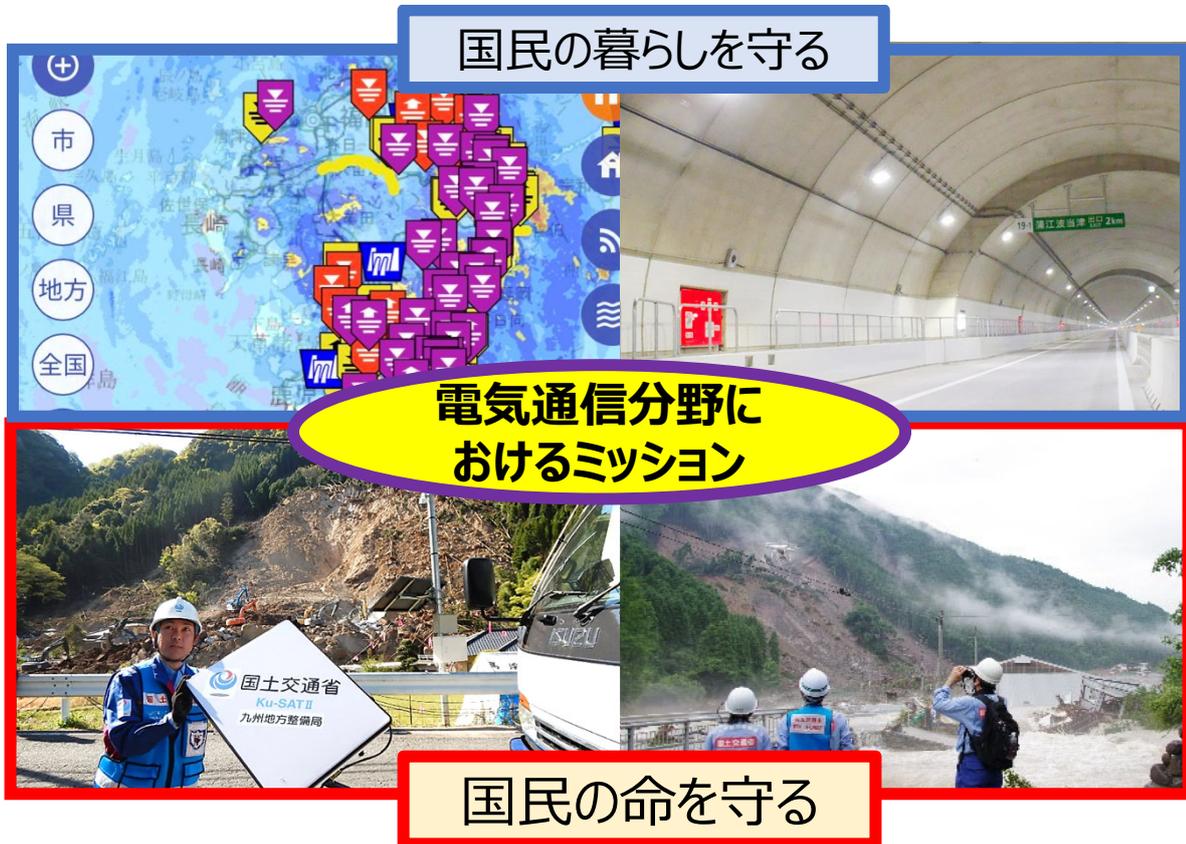
ダムの状況を伝える。



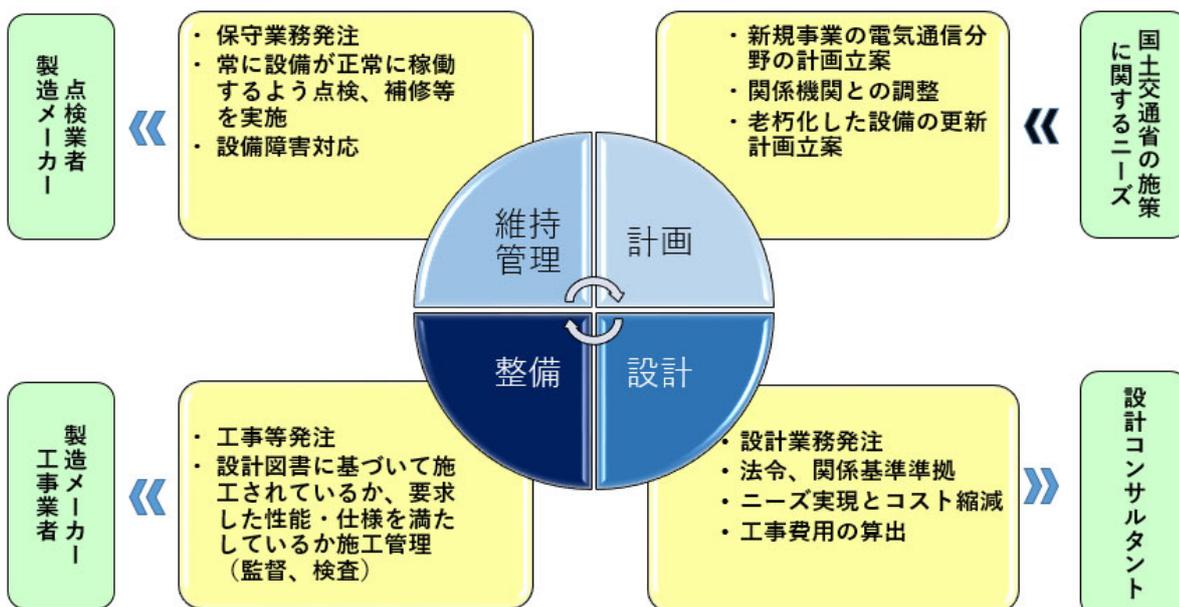
河川・ダムの状況を集め・伝える。

1.2 国土交通省における電気通信分野のミッション

国土交通省のミッションとして、国民の命と暮らしを守ることがあります。私たちは電気通信分野の面からミッションを達成するため、様々な設備の計画・設計・整備・維持管理をおこなっています。



計画、設計、整備、維持管理を一連で実施



自分の「想い」が確かな「形」になって世の中の役に立つ！

1.3 業務概要（計画・設計）



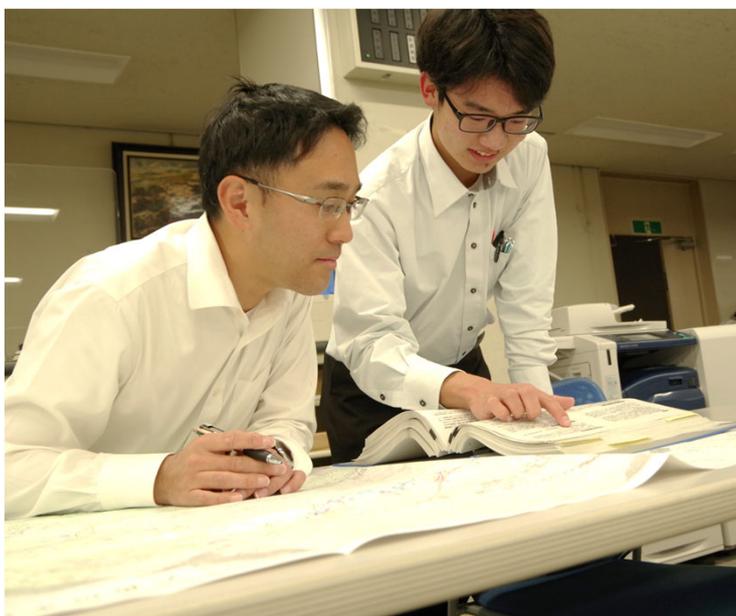
設備・配置計画の検討

どんな設備をどう整備すれば適切なコストで最適な効果が得られるか、法的な条件は何か机上や現場で検討をおこないます。設計業務を発注し、設計コンサルタントに委託して検討をおこなう場合があります。



現地状況を調査

実際に現場を訪れ、机上で計画した内容が実施できるか。また、実施するにあたり必要となる条件は何か調査をおこないます。



関係部署と協議

設備整備にあたり、関係部署に調整・協議をおこないます。
大規模工事の場合、複数部門・部署と連携して、施工をおこなう必要があります。
必要に応じて他省庁・他地整・自治体等と協議をおこなうこともあります。

1.4 業務概要（整備）



工事を発注

計画・設計をおこなった内容で、発注資料を作成し、発注をおこないます。

施工内容や積算条件、施工をおこなう上で求める条件等受注者から見てわかりやすい資料となるよう工夫して資料を作成します。



施工内容について受注者と打合せ

計画・設計内容における認識の違いが生まれないよう受注者と打ち合わせをおこないます。

また、安全かつ確実に施工がおこなえるか、施工計画や進捗状況の確認をおこないます。



工事施工監督

安全に施工がおこなわれているか、計画通り進んでいるか監督をおこないます。

受注者より疑義事項があった場合には、その都度対応をおこないます。

1.5 業務概要（維持管理）



設備を運用

整備した設備を運用して、様々な情報を収集・展開して、人々の暮らしを守るミッションを遂行します。

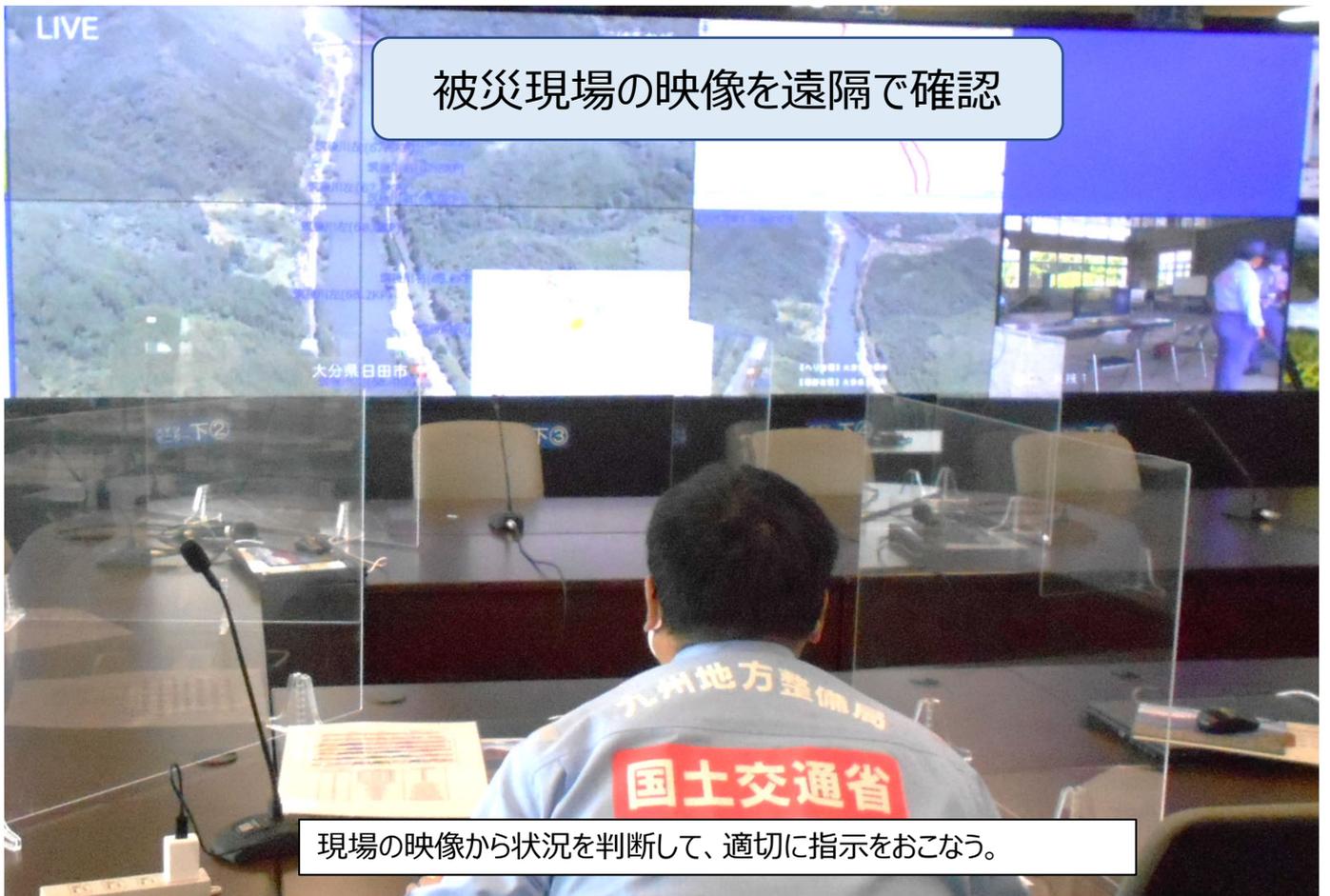


設備を保守

設備に障害が発生した際にいち早く復旧できるよう対応策の考案及び復旧作業をおこないます。

障害の内容によっては、民間や他部局にまで影響が及ぶ場合があるため、迅速な対応が求められます。

1.6 防災業務における電気通信

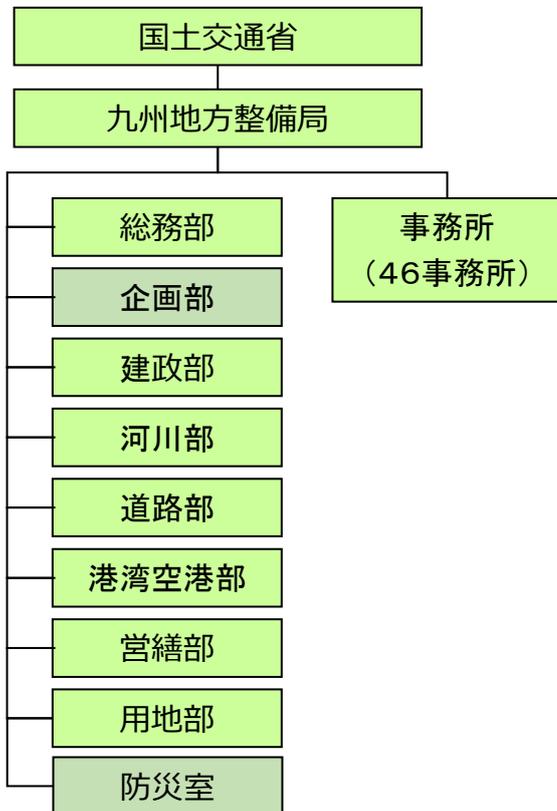


一刻も早く災害現場の情報を届ける重要な業務

2. 九州地方整備局の組織構成

九州地方整備局は福岡県福岡市に本部を配置し、九州各県に事務所を配置しています。電気通信職員の勤務先としては、九州地方整備局本局・総合事務所（河川国道）・河川事務所・道路事務所が主体となります。

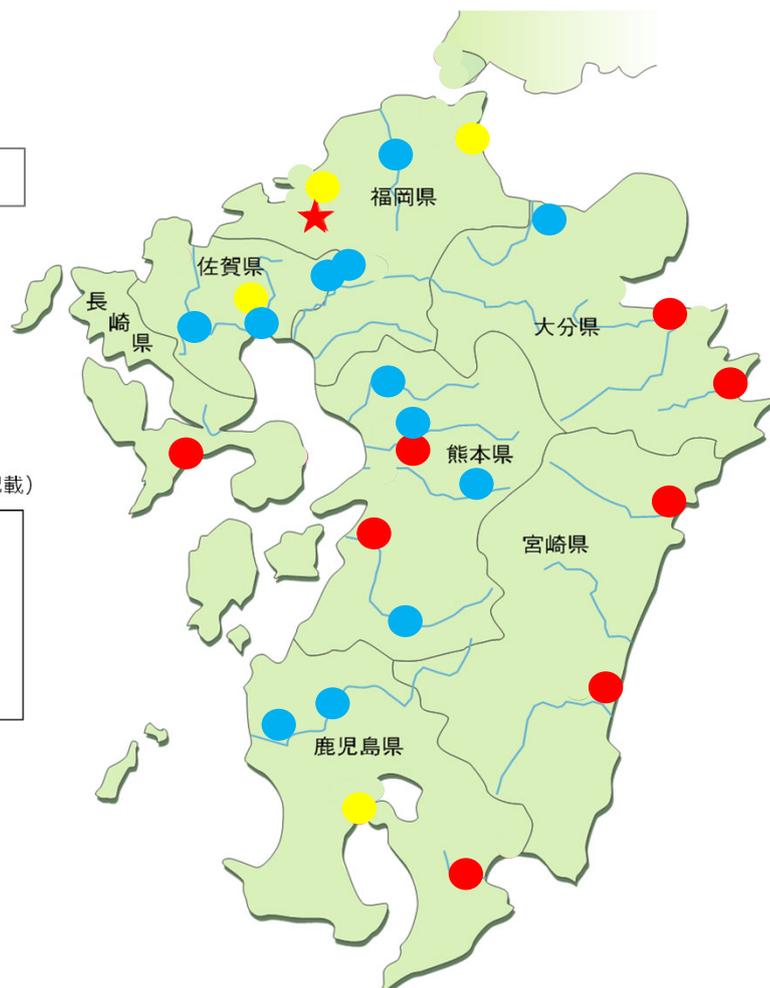
組織図



各事務所内訳

本局	
事務所数	46
総合事務所（河川国道）	9
河川事務所	13
道路事務所	6
港湾空港事務所	14
営繕事務所	2
公園事務所	1
技術事務所	1

管内図



凡 例（電通職員がいる事務所のみ記載）

- ★ 地方整備局
- 総合事務所
- 河川関係事務所
- 道路関係事務所

3. 研修制度

九州地方整備局ではスキルアップを目的とした様々な研修制度に加え、電気通信職員独自の取り組みとして、若手職員を中心とした委員会を組織し、今後の業務に役立つスキルを身につける様々な活動をおこなっています。

豊富な研修制度（抜粋）

新規採用職員研修

- 新規採用者対象（4月、10月）

無線従事者養成講習

- 電気通信職員として必要な資格を取得

西ブロック電気通信技術研修（4地整研修）

- 入省後5年程度の近畿、中国、四国、九州の地方整備局の電気通信職員が対象

専門課程 電気通信研修（国土交通大学校）

- 係長程度の職員対象。全国の地方整備局の電気通信職員が対象

TEC-FORCE隊員研修

- TEC-FORCEとして活躍する前に心構え・技術などを習得

小型無人機操縦研修

- ドローンを操縦する上で必要な航空法や運用管理の知識・技術を習得

その他いろいろな研修あり（CAD、BIM/CIM、E-Learning・・・）



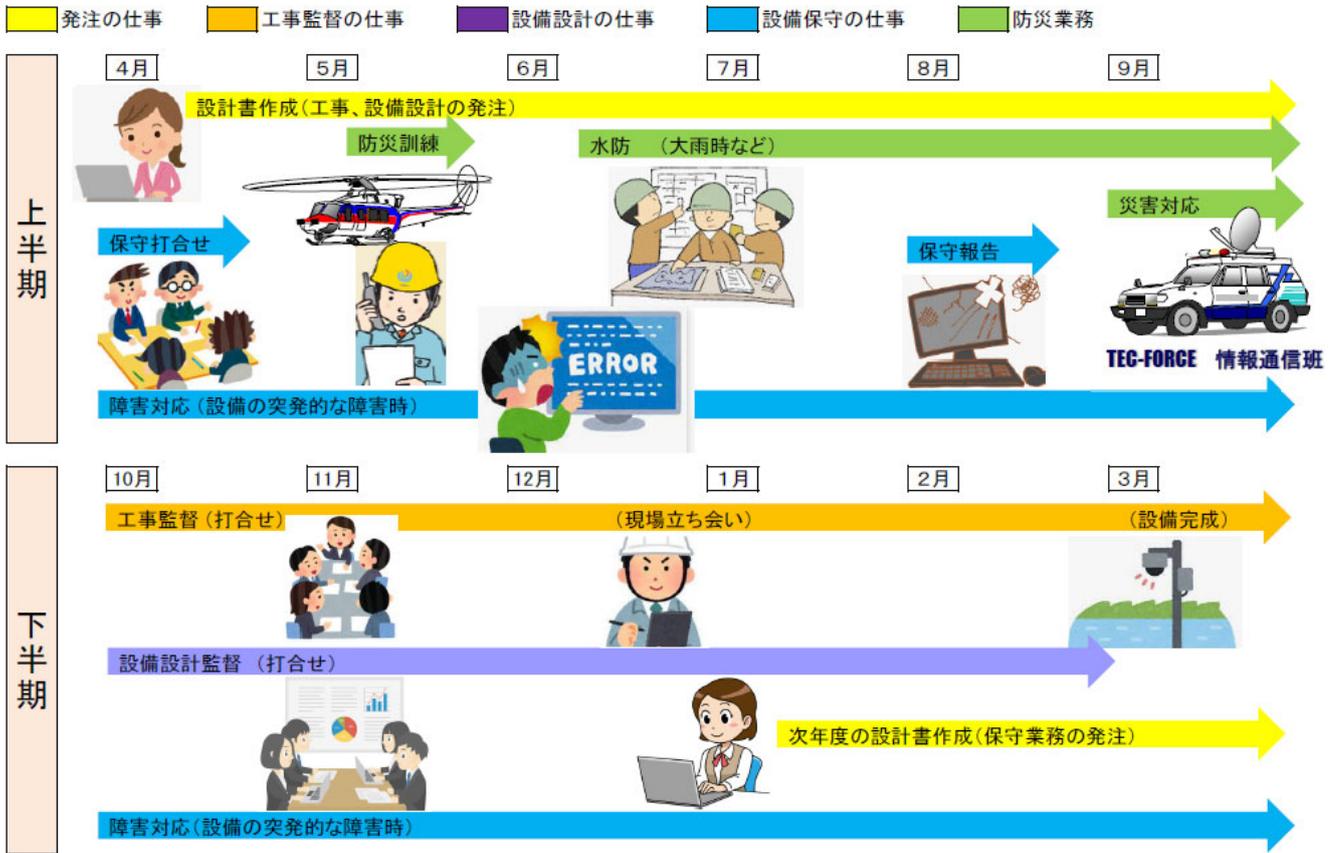
若手職員を対象とした勉強会の様子



防災機器操作訓練の様子

4. 職員の業務スケジュール

情報通信担当者の年間スケジュール(例)



1日のスケジュール【事務所】



1日のスケジュール【現場】



5. 先輩職員の声

・先輩職員の声① (高卒枠採用)



2025年4月現在

九州地方整備局
宮崎河川国道事務所 防災課
防災情報係

藤田育美

2024年入省/経営情報科卒

■ 仕事のやりがいや、それを感じる時は？

私は、主に通信設備等の保守を行っています。その1つに、テレメータというものがあります。これは、雨量や川の水位などの観測データを無人で収集し、無線等で送信するシステムです。収集したデータを遠隔でリアルタイムに確認でき、洪水等のお知らせにも重要な役割を担っています。この他にも、九州地方整備局ではたくさんの通信設備を保守・管理しています。災害に関わる情報を迅速に発信し、人々が安心して過ごせるような環境を整える電気通信分野の仕事にやりがいを感じています。

■ 楽しさを感じる時は？

できることが1つずつ増えた時に楽しさを感じます。初めは分からないことだらけで不安でしたが、上司や先輩方から電気通信に関する知識を教えていただき、それを自分の業務に生かした時はとても嬉しくなります。現場に行くこともあるので、その時行われている工事の過程や完成の様子を自分の目で見るのができ、毎日が新鮮です。また、若手向けの勉強会や講習会を手厚く行っていただき、そこで同期や先輩方と関わることが多いため、他の事務所の電気通信職員と電話やメールでやりとりしながら楽しく仕事を進めています。

■ 今後、チャレンジしたいことは？

学生時代に電気通信分野を学んでこなかったため、日々の業務や勉強を通して、電気通信関係の資格取得が出来るよう励んでいきたいです。災害が起こった際に素早く対応でき、点検業者がメンテナンスしやすいような工事の設計を行うことが私のチャレンジ目標です。でも、まだ1年目なので、まずは自分が担当する業務の内容を確実に覚えることを心掛けていきたいです。



・先輩職員の声 ② (高卒枠採用)



2025年4月現在

九州地方整備局
大分河川国道事務所 防災課
防災情報係

岩木陽大

2023年入省/情報システム科卒

■ 仕事のやりがいや、それを感じる時は？

施工に携わる様々な方と調整を行い工事が進んでいくところにやりがいを感じます。工事を進めていく中で大変なこともあります。上司の方々や受注者様と話し合い解決策を見つけていくのは非常にやりがいを感じます。

また日常生活中に点検で携わった設備を実際に見ると自分の仕事が住民の方々の役に立っていると感ずることが出来ました。

■ 楽しさを感じる時は？

現地調査や工事立ち会いは、他で見る事のない設備や新しい発見があり楽しく感じます。また若手の勉強会や交流会なども盛んに行われており、他事務所とのつながりもたくさんあります。事務所の繁忙期にもよりますが、比較的休みもとやすく家族や友人とゆっくり過ごすことが出来ます。

■ 今後、チャレンジしたいことは？

まずは工事立ち会いの中で基本的な知識をしっかりつけていき、そのうえで電験三種の資格取得を目指していきたいと思ひます。

また九州地方整備局では道路関連からドローンまで様々な研修が行われているため、積極的に参加し知識を深めていきたいです！



● 先輩職員の声 ③ (大卒枠採用)



2023年4月現在

九州地方整備局
大隅河川国道事務所 調査第一課
電気通信係長

後藤 技官

2016年入省 / 電気電子工学科卒

■ 仕事のやりがいや、それを感じる時は？

私たち国土交通省の職場は、土木分野の職員を始め、機械、営繕、電気通信、用地、経理など様々な分野の人たちと一緒に仕事をしています。その中で、電気通信担当の職員として専門的な意見を出しながら、他分野の職員と、道路や河川事業の整備や管理に係わる調整を行い1つの事業を進めていくところにやりがいを感じています。

■ 楽しさを感じる時は？

今の事務所では、河川、道路及び砂防事業に係わる電気通信設備の整備や管理を行っています。例えば道路のトンネルには照明がありますが、明るさにも基準があり、人の目が順応できるようにするためにトンネルの入口部にはより多くの照明があり、進むにつれて徐々に暗くなっていきます。このように整備する1つ1つの設備は、色んな基準で設計されており、設計業務の打合せなど仕事を進めながら、その基準を再確認しながら仕事を進めることを楽しく感じています。

■ 今後、チャレンジしたいことは？

入省して7年目になりますが、今までは、河川事務所や国道事務所など勤務先で仕事が変わることがありましたが、今年から係長になり、工事の監督員という新しい仕事が増えました。これから、現場工事の知識も増やし、より成長していきたいと考えています。

■ 入省を考える後輩たちへ

私たち国土交通省の電気通信職員は、事務所の防災情報システムや通信設備の整備や、可搬型の衛星通信設備の運用などにより、洪水や地震などの自然災害に対応する業務も行っていきます。「九州に住む人たちの生活や命を電気通信の分野を通じて守る仕事を一緒に行いましょう。」九州地方整備局を就職先の一つとして考えてみて下さい。



先輩職員の声 ④ (社会人経験者枠採用)



2023年4月現在

九州地方整備局
北九州国道事務所 管理第二課
電気通信係長

楠技官

2022年入省／民間会社（無線・情報通信機器の保守）



■ 仕事のやりがいや、それを感じる時は？

空港の情報通信会社を経験し、2022年の10月から九州地方整備局に入省しました。前職は、空港の無線設備や情報通信機器の保守や更新等に携わっており、点検や障害対応など空港の運用を陰からサポートしてきました。今は全く逆で、国の機関として設備設計、民間企業向けの工事発注と監督を行う立場ですが、同様なやりがいを徐々に感じてきているところです。また、地元九州のインフラ整備に携わることによって物流の促進などによる地域の活性化につながると感じており、これ以上のやりがいはありません。

■ 楽しさを感じる時は？

いろいろな研修だけでなく、事務所や近隣事務所の若手を集めて勉強会をやったりします。他事務所の方とも交流でき繋がりができます。

電気通信の分野では学校で勉強したことや前職で得た経験が役に立っていたり、もっと勉強しておけば良かったと思うこともあります。

2023年3月に国道3号黒崎バイパスの春の町ランプ・陣原ランプの開通がありました。私は途中から工事に携わり式典にも参加しましたが、職員・関係機関・自治体が長い年月をかけて完成したと実感し地元の人にこんなに喜んでもらえるのかと感じました。

■ 今後、チャレンジしたいことは？

経験者枠ということで、電気通信担当の係長として業務を行っています。

この1年は先輩たちに色々教えてもらいながら業務を行ってきましたが、1年が経ち年間の業務の流れが掴めてきたのでまずは習ったことをしっかり遂行していきたいと思っています。そしてそれをベースに、新しい知識と経験を積んでいき、さらに進化していきたいと思っています。

■ 入省を考える後輩たちへ

仕事をしていくなかで「いつかは地元に戻りたい」「地元で貢献できる仕事がしたい」と思うようになり、九州地方整備局の募集を見たときにこれだと応募しました。

まだ、勉強中の身ですが皆さん、私たちが住む九州のインフラを支える仕事、一緒にやりましょう。

いつかどこかの事務所でお会いできることを、楽しみにしています。



6. 情報発信・SNS情報

情報発信

九州地方整備局の電気通信に特化したホームページがあり、情報を発信しています！

管理している設備等についてもっと詳しく紹介しているので、是非ご覧ください！



国土交通省 九州地方整備局 電気・ICTエンジニア採用サイト
http://www.qsr.mlit.go.jp/s_top/n-recruit/it_recruit/



↑スマホで読込↑



SNS情報

九州地方整備局の採用に関する情報は色々なSNSで配信を行っています。
是非ご覧ください！



@mlitKyushusaiyo

Instagram

kyushu_chisei_official

投稿178件 フォロワー1018人 フォロー中22人

九州地方整備局【公式】
政府機関
国土交通省 #九州地方整備局 (通称: #九州地整) の公式アカウントです。九地整の #紹介 を中心に #採用情報 など、さまざまな情報を発信します！
※このアカウントは発信専用です。お問い合わせはHPからお願います。
博多区博多駅東2-10-7, Fukuoka-shi, Fukuoka, Japan 812-0013
@ www.qsr.mlit.go.jp

「道路、河川、港湾、空港、公園」は
どのようにつくり、守っていくのか
成長を**実感**できる 将来の**自分**を見つける
～九州地方整備局インターンシップ～

九州地方整備局では国土交通省のさまざまな業務を体験し
社会資本の役割を理解していただくこと
学生の資質の向上と視野の拡大を図ることを
を目的に学生の就業体験技術実習（インターンシップ）を受け入れています

国土交通省 九州地方整備局

国土交通省九州地方...
159件のポスト

フォローする

ポスト 返信 メディア いいね

国土交通省九州地方整備局 採用... R5/11/07 ...

【採用特集：先輩職員一言メッセージvol.12】
入省3年目大分河川国道事務所の服部です。私は電気通信職員として仕事をしています！幅広い仕事ができ、とても楽しいです♪休日の充実して、色々な所に旅行してます！楽しい職場なので、皆さんも入省してみませんか！！
#採用 #公務員 #国家一般職

山の頂上付近にある多重無線中継所の鉄塔に上って、鉄塔についている、ドーム内の点検に立ち会いました！鉄塔に上った時の景色は最高でした！！

服部

休日は、地元の友達と色々な所に行ってます！公務員は早いイメージですが、休みたいときに休めたり、寝も楽めたり、仕事だけでなく、プライベートもとても充実しています！！

服部

鳥取市 鳥取砂丘

北九州市 門司港レトロ

1 8 1007

YouTube

九州地方整備局 デジタル・電気・電子職 採用

知ってしまっただ！ 神職場だということを...

国土交通省九州地方整備局

1776 視聴済み 1ヶ月前 #公務員 #インテリジェント #電気 これからは総務職を始める皆さん！九州地方整備局ってどんな仕事をしているのだから、働ける環境がどんなにいいかならうと考えたイメージじゃないかなと思います。そこで今年、デジタル・電子・電気採用の仕事を紹介しています。...もっと見る

(付録) 管理している設備紹介 (道路)

道路・トンネル照明設備

道路の安全を確保するために、光量や設置間隔等様々な要素を工夫して整備しています。
また、省エネルギー・低コストを目的に、効率的なLED照明を道路照明に採用するとともに、照明ポールの形状や基礎の大きさ等様々な工夫をおこない、コスト縮減を図っています。
トンネルでは、入口部と出口部を明るくすることで日中における奥外部とトンネル間の明暗の差を減らし、利用者の視界を確保できるよう工夫をおこなっています。



ETC2.0

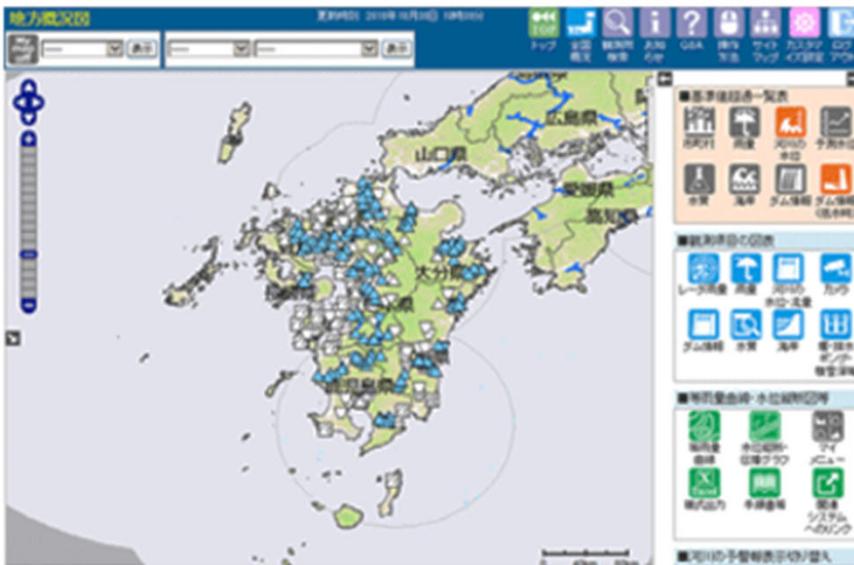
道路側のアンテナと車載器等による路車協調システムです。
料金収受だけでなく、安全運転支援、渋滞回避支援、災害時支援等カーナビに表示できる情報提供サービスのほか、道路交通情報や走行履歴・経路情報などのビックデータを活用して、さまざまな新しいサービスが導入される予定です。



(付録) 管理している設備紹介 (河川)

河川情報システム

流域内の雨量・河川水位・ダム諸量・水質等を広域的に集計処理するシステム。このシステムによって得られた各種情報は、洪水等の予報や水門・堰といった施設の制御にも役立てられるほか、自治体等にも配信され、迅速かつ的確な判断の材料となります。



ダム・堰管理システム

多くのダムや堰では、管内所内でダムや堰を制御する管理用制御処理システムを導入しています。

このシステムでは、雨量・水位などのデータや貯水量、ゲート開度データ等から演算処理をおこない、流入量や放流量の計算やゲート操作、警報判定や日報の集計などさまざまなことをおこなっており、ダムや堰の管理に大きく貢献しています。



(付録) 管理している設備紹介 (防災)

衛星通信車

通信衛星を利用して、映像や音声等いち早く災害現場の情報をより多く伝送することが可能です。

高感度カメラで夜間での撮影にも対応しており、車両に発電機を搭載しているため、長時間の活動が可能となっています。



防災ヘリ「はるかぜ」

災害現場にいち早くかけつけて、上空から撮影した被災箇所の画像をリアルタイムで送信することができます。

衛星通信回線を用いた画像伝送システムを搭載しており、全国どこからでもリアルタイムでの映像伝送が可能です。



(付録) 管理している設備紹介 (全般)

多重無線通信設備

多重無線通信装置は、マイクロ波帯の電波を使用し、防災に関する情報を多重化し、無線で伝送するものです。

国土交通省では、隣接する拠点と接続しながら全国的な通信網を構築しています。



CCTVカメラ

IP通信を用いて映像を閲覧するために現地に設置しているカメラです。

カメラ映像から河川や道路の情報が得ることができます。

電気通信職ではCCTVカメラの設置場所検討から整備や保守・運用と全般に携わっています。

カメラ映像の一部は整備局管内事務所のHPや動画配信サイト等で公開しています。





九州地方整備局のHPやYouTubeにも情報を発信していますので気になる方はこちらから↓↓



(HP)



(YouTube)

国土交通省 九州地方整備局
企画部 情報通信技術課
〒812-0013
福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
電話：092-471-6331（代表）